

2018年度「中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会」受託研究報告会

日本遺産のサブストーリーを発掘する

——教育と研究の実践からの発信——



2月16日 (土)

13:30-16:30

(13:00受付開始)

北川村小島集会所
(入場無料・申込不要)

高知大学は、「中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会」からの委託を受けて、調査研究事業を行ってきました。今年度は、中芸地域を舞台に、日本遺産のストーリーには描かれてはいないけれども、中芸地域の魅力や特色を伝える物語（サブストーリー）を発掘することにチャレンジしました。地域の皆さんの協力を得ながら、高知大学の大学教員と学生が行ってきた活動の成果を報告したいと思います。ぜひご参加ください！

主催：高知大学次世代地域創造センター、人文社会科学部
共催：中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会
協力：北川村

問合せ：高知大学・赤池慎吾

電話：080-2982-8762 / E-mail: akaike@kochi-u.ac.jp

趣旨説明

2017年4月、中芸5町村（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）が申請したストーリー「森林鉄道から日本一のゆずロードへ――ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化」が日本遺産に認定されました。中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会は、日本遺産関連事業の一つとして、高知大学に研究を委託しました。2018年度の受託研究のテーマは「日本遺産のサブストーリーを発掘する」というものです。

「サブストーリー」とは、日本遺産に認定されたストーリーには十分には描かれていないが、そのストーリーに広がりや深みを与えてくれるような物語、あるいは中芸地域の魅力や特徴を考えるうえで重要となる物語のことです。今年度は、中芸地域を舞台に、この地域で暮らしてきた人それぞれが個別具体的に経験してきた歴史（生きられた歴史）についてインタビューすることで、サブストーリーを発掘することを試みてきました。

この報告会では、受託研究として行ってきた活動を、大きく3つに分けて紹介します。1つ目は、高知大学の教員が中心となって行ってきた、地域住民に対するインタビュー調査の成果を紹介します。2つ目は、高知大学の教員と学生が授業の一環として行ってきた取り組みとその成果について紹介します。3つ目は、高知大学の学生が中心となって取り組んできたサブストーリー作成の試みについて紹介します。

日時・会場

日時：2019年2月16日（土）13:30-16:30

会場：北川村小島集会所（高知県安芸郡北川村96 ※北川村温泉の南側、奈半利川沿いにあります）
会場駐車場をご利用ください（無料）

プログラム

- 13:00- 開場、受付開始
- 13:30-13:35 開会の挨拶
- 13:35-14:00 趣旨説明「サブストーリーってなんだろう？」・・・・・・・・岩佐光広（高知大学）
- 14:00-14:30 研究活動報告「インタビューから見えてきた「暮らしのなかの森林鉄道」
・・・・・・・・赤池慎吾（高知大学）
- 14:30-14:45 休憩
- 14:45-15:15 教育活動報告「学生たちと一緒に発掘、サブストーリー」
・・・・・・・・岩佐光広（高知大学）
- 15:15-15:45 学生活動報告「女子大生が選ぶサブストーリーコレクション」
・・・・・・・・金田野乃花、立田瑳彩、三木陽子（高知大学）
- 15:45-16:15 コメント・・・・・・・・柏尾珠紀（滋賀大学）
- 16:15-16:25 フロアからの感想・コメント
- 16:25-16:30 閉会の挨拶

問合せ

高知大学次世代地域創造センター・赤池慎吾
電話：080-2982-8762 E-mail:akaike@kochi-u.ac.jp
ホームページ：http://www.kochi-coc.jp/info/dtl.php?ID=1094